



ハリーン通信

Vol. 37



〔目次〕

- P1 表紙・不法投棄防止地区の活動、フードドライブ 写真
- P2 不法投棄を許さない地域づくり
不法投棄防止地区の活動紹介 小野市榎山町室山地区
多可町加美区熊野部地区
不法投棄防止資材の配付と監視カメラの設置 北播磨県民局
- P3 県の取り組み
ごみ拾いSNS「ピリカ」を活用して不法投棄を通報しよう！ 北播磨県民局
- P4 リサイクルの取り組み
「資源循環の促進に関する連携協定」の締結 小野市、(株)エフピコ
- P5 環境学習
エフピコ関西工場・関西選別センター見学 小野市立小学校4年生
県・市町の取り組み
フードドライブ in 北播磨 北播磨県民局と管内5市1町
- P6 企業の取り組み
自然共生サイト認定 北播磨県民局
- P7 団体の取り組み
環境保全功労知事表彰 受賞 兵庫県立北条高等学校自然科学部
寄稿
増田ふるさと公園保全活動 NPO 法人三木自然愛好研究会
- P8 団体の活動
ひょうご環境保全連絡会北播磨支部先進地視察 北播磨支部



不法投棄防止地区の活動紹介 ～小野市榎山町室山地区～

小野市榎山町室山地区は小野市最南端の三木市に隣接する位置にあり、西側は県道加古川小野線が、南側には山陽自動車道が走っています。地区の東側では、現在、東播磨道の室山高架橋の工事が進んでいます。

東播磨道が完成すると、山陽自動車道側道の通行止めが解除され、以前のように不法投棄が増加する恐れがあるため、1月下旬に役員8名により、「不法投棄監視中」と「監視カメラ作動中」の看板、センサーライトを地区内7箇所に設置して、監視体制を強化しました。



不法投棄防止地区の活動紹介 ～多可町加美区熊野部地区～

多可町加美区熊野部地区は、同町の中央部に位置し、国道427号線が南北に走っています。並行して流れる杉原川の東部の山林は地区が管理する土地で、不法投棄を防止するために柵をしていますが、ガラスや瓦などの建設廃材が投棄されることがあります。

1月12日に地区の役員3名により、簡易型監視カメラ、「監視カメラ作動中」と「不法投棄監視中」の看板、センサーライトを3箇所に設置して、監視体制を強化しました。



不法投棄防止資材の配付と監視カメラの設置 北播磨県民局

北播磨県民局では、今年度、要望があった不法投棄防止地区27地区に対して、不法投棄防止地区立看板・簡易型監視カメラ・監視カメラ作動中看板・センサー付ソーラーライト・ごみよけトリー・不法投棄防止ネットなどを配付しました。

監視カメラ（据付型）については、要望があった小野市中谷町に設置しました。太陽光（ソーラー）発電により作動するもので、設置場所には条件がありますが、産業廃棄物の不法投棄を防ぐため、今後も監視カメラを活用していきます。



ごみ拾いSNS「ピリカ」  を活用して不法投棄を通報しよう！



北播磨県民局

兵庫県では新たにごみ拾いSNS「ピリカ」を活用して、**不法投棄の通報**ができる体制を構築しましたので、ぜひご活用ください！！

特徴①：24時間365日通報できます！

土日や早朝などの閉庁時に発見した場合でも、ピリカを活用すれば簡単に県へ情報提供することができます。
〔行為者と関係しそうな情報（車両など）も把握されておりましたら、コメント欄等でお伝えください。〕

特徴②：場所の詳細が分からなくても大丈夫！

ピリカから位置情報が併せて送られるので、現場の場所を簡単に連絡できます。

ピリカのインストールや不法投棄の通報方法は、[こちら](#)をご確認ください → → → →



○不法投棄の通報にあたっての留意事項

- ・現場に向かったものの、不法投棄された廃棄物が見当たらない場合など、通報内容の詳細を確認させていただく場合がございますのでご了承ください。
 - ・一般廃棄物の不法投棄についても通報可能です（こちらに通報のあった一般廃棄物に関する情報は、適宜各市町に情報提供させていただきます。）。
- ただし、**当面の間は、産業廃棄物の不法投棄についての通報を優先的にお願いしたい**ので、**よろしくお願いたします。**

不法投棄の未然防止や早期発見に向けた取り組みに対するご協力をよろしくお願いたします。

< **産業廃棄物**の例 >



解体工事から出るようなごみ（例：解体木くず、コンクリートくず、廃方スチック、金属くず等）

< **一般廃棄物**の例 >



一般家庭から出るようなごみ（例：缶、ペットボトル、弁当ガラク、生活雑貨等）

このスマホアプリを使って一般廃棄物等のごみ拾いの記録を投稿すると“ありがとう”やコメントが届くので、他のユーザーと励まし合いながらごみ拾いを楽しむのが一般的な使用方法です♪

今回紹介した不法投棄の通報とは別に、ぜひご活用ください。詳しくは、ハリーン通信 34号をご覧ください。



ハリーン通信 34号

リサイクルの取り組み



Plastics Smart

「資源循環の促進に関する連携協定」の締結

小野市、(株)エフピコ

令和6年11月14日、小野市と食品トレー製造国内最大手の株式会社エフピコ（本社：広島県福山市）が、資源循環の促進に関する連携協定を締結しました。

この協定により、小野市内のスーパーマーケット店頭で回収された使用済みの食品トレーを、新たな食品トレーに再生して、再びお店で使用する「プラスチック資源の地産地消」を構築し、資源循環と脱炭素の取り組みを促進します。

また、同社は兵庫県と連携して、使用済み食品トレーを、ごみではなく資源として捉える意識改革と行動変容を促す取り組みとして、市場小学校と来住小学校の4年生を対象に出前授業を開催しました。



エフピコ出前講座



市場小学校



来住小学校

児童たちは、海洋プラスチック問題やリサイクルの重要性などについて話を聞いた後、リサイクル促進への思いを込めた食品トレーのデザインを考案。その中から選ばれたものを、小野市在住の漫画家 桒納タオさんがイラスト化したオリジナルエコトレーが令和6年10月に完成しました。

「オリジナルデザイン」を裏面に印刷したエコトレーは、協定締結日から小野市内のスーパー6店舗で流通しています。



エフピコ関西工場



エフピコ関西選別センター



環境学習



校外学習



エフピコ関西工場・関西選別センター見学 小野市立小学校 4年生

食品トレー製造国内最大手の株式会社エフピコの関西工場と関西選別センターを小野市内の小学校4年生が見学する環境学習が始まりました。

令和6年11月に小野市とエフピコが、使用済みプラスチック容器のリサイクルや環境教育で協力する連携協定を結んだことを受けた取り組みで、12月以降、来住小学校、下東条小学校、市場小学校、小野小学校、小野東小学校がそれぞれ見学をしました。



講義

取材をした小野東小学校4年生の児童は、関西工場ではリサイクルトレーの製造工程を、選別センターでは使用済みのトレーが色や材質によって選別される作業工程を見学しました。

児童たちは、①リサイクルの主役は消費者であること、②リサイクル不可能なトレー・容器・ペットボトルを持ち込まないこと、③選別作業の大変さを学びました。



関西工場見学



選別センター見学



県・市町の取り組み



フードドライブ in 北播磨 北播磨県民局と管内5市1町

北播磨地域では、ひょうごSDGs WEEK（10月21日～27日）の期間を中心に、県民局と北播磨管内の全市町が連携しフードドライブを実施しました。皆様から沢山の食品を寄附していただきました。

ご協力ありがとうございました。



北播磨 フードドライブ



【フードドライブとは】

家庭の食品等の在庫の一部を持ち寄り、それを必要とする福祉施設や子ども食堂等にフードバンク等を通じて寄附する取り組み。食品ロス削減を図る一つの手段となり、県民一人一人が取り組むことができる活動です。

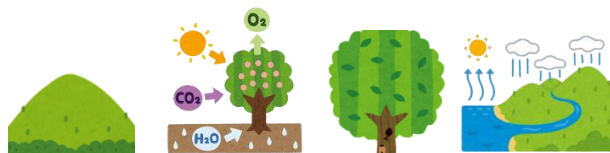
イメージ



企業の取り組み

自然共生サイト認定

北播磨県民局



自然共生サイトとは、ネイチャーポジティブ(=自然再興)の実現に向けた取り組みの一つとして、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を国が認定した区域のことで、民間の保護区のようなものとなります。

令和6年12月末現在、全国で253か所、うち県内14か所(行政5か所、民間・個人等9か所)が認定されています。

※出典：環境省ホームページ

環境省 自然共生サイト



北播磨地域では次の2箇所が認定されています。

サントリー天然水の森 ひょうご西脇門柳山

令和5年10月25日認定

西脇市 面積：880.36ha

申請者：サントリーホールディングス株式会社

里山林及び人工林を中心とした森林で、サントリープロダクツ高砂工場の水源涵養エリアにおける水源涵養林です。

多様な環境に様々な植生が成立しており、多くの生き物の生息・生育の場として機能しています。

地域住民や行政、学識経験者、林業関係者などと連携しながら水源涵養林として高い機能を持つ森に育てるとともに、生物多様性を保全し、人々が自然と接することのできる森づくりを実施しています。

※このサイトでの取組は、林野庁が実施する「森林×ACT(アクト)チャレンジ2024」において、「森林づくり部門 優秀賞(林野庁長官賞)も受賞されています。



グリーンバッテリーフォレスト加西

令和6年10月21日認定

加西市 面積：3.71ha

申請者：プライムプラネットエネルギー&ソリューションズ株式会社

関西本社工場敷地内の緑地で、緑化由来の樹林1.7haに加えて、里山由来の樹林や草原、休耕地、竹林などが分布し、全体で約3.7haの緑地です。

タイプの異なる樹林、草原、湿地など多様なハビタット(=生息場所)が存在し、里山林に生息するアカシジミをはじめとして、各ハビタットに特有の動植物が見られます。

キツネ、タヌキ、カヤネズミなど生態系の上位から下位に位置する哺乳類も確認されており、地域の生物多様性保全に貢献しています。



令和7年4月1日から新しい法律が施行され、自然共生サイトが法制化されます。

地域生物多様性増進法



団体の取り組み



環境保全功労者知事表彰 受賞 兵庫県立北条高等学校自然科学部

令和6年6月4日に兵庫県民会館で開催された「地球と共生・環境の集い2024」の表彰式において、兵庫県立北条高等学校自然科学部が、環境保全功労者知事表彰を受賞しました。

この表彰は、環境行政の推進に関して、特に顕著な功労のあった者を表彰し、その功績を宣揚することを目的とするものです。



同校自然科学部は、加西市網引町にある、兵庫県の天然記念物「あびき湿原」の希少種を守るため、あびき湿原保存会の会員とともに生物調査や湿原の整備を行い、環境保全に貢献したこと、また、あびき湿原の魅力について、Web等で情報発信を行うなど、環境保全の啓発に尽力したことの功績が認められ、このたびの受賞となりました。

自然科学部の9年間にわたる活動が認められたことについて、同校では、過去の先輩方や関係者の尽力の賜物と祝福されていました。

部長の織邊さんは、「あびき湿原に行くたびに魅力を知っていきました。夏は周辺より涼しいので市民の皆さんも気軽に行ってほしいです」と話し、受賞の喜びをかみしめていました。



寄稿



増田ふるさと公園保全活動 NPO 法人三木自然愛好研究会

12月22日(日)、NPO 法人三木自然愛好研究会の会員17名と一般2名の参加により、恒例のふるさと公園全面草刈りを実施しました。各自、手鎌や刈払機を手に斜面の足場に注意しながら作業し、高枝切りも実施しました。

1月26日(日)、19名の会員が集合し、そのうち5名は貴重種が生育する公園外のため池土手の草刈りを行い、残りの会員は延焼防止のために刈草の移動作業を行いました。

その後、地元の消防団により隣接する山林に放水し、地元住民が会員と一緒に畦焼きを行いました。

研究会の活動拠点である「増田ふるさと公園」は、増田地区の圃場整備の際に、研究会が三木市に保全するように働きかけた結果、平成13年に約0.7haの広さで整備されました。

それ以降、三木市と増田地区と研究会で三者協定を結び、公園の保全・維持管理を行っています。



ひょうご環境保全連絡会 北播磨支部先進地視察



ひょうご環境保全連絡会北播磨支部

ひょうご環境保全連絡会北播磨支部では、先進地視察を5年ぶりに実施しました。今回は、地球温暖化対策の大きなテーマである温室効果ガスの削減に向けて先進的な取り組みをされている二つの施設を見学しました。

一か所目は、西宮市にある株式会社リヴァックスのバイオガス発電プラントです。ここでは食品工場の製造過程で生じた残渣や賞味期限切れの飲料などの産業廃棄物を受け入れ、メタン発酵施設で分解処理することによって発生するバイオガスを燃焼させて発電を行い、関西電力を通じて地域電力として活用されています。また、脱水施設で発生する消化液は堆肥の原料として活用しています。



二か所目は、大阪府松原市にある大型複合商業施設セブンパーク天美で、様々な最先端の省CO₂設備を取り入れた環境配慮型ショッピングセンターです。

ここでは、①厨房生ごみを利用した敷地内完結型バイオガスシステムとバイオガスコージェネレーションを組み合わせたシステムの活用と、②AI（人工知能）を用いたBEMS（ビル・エネルギー管理システム）による負荷予測・各種熱源設備の運転制御による省エネの自動最適化を行っています。



ハリーン通信はインターネットでもご覧になれます

平成17年の創刊号から、最新の37号までのハリーン通信をインターネットでもご覧になれます。「ハリーン通信」←検索、又はQRコードから読み取ってください。

兵庫県北播磨県民局県民躍動室環境課
電話0795-42-5111（内線341）
FAX0795-42-7535

